



農村伝道神学校後援会だより NO. 114

竹の十字架と鶴川教会

鶴川教会牧師 瀬戸英治（第40回卒業生・理事）

私の牧会する鶴川教会の一階のロビーの壁に謄写版で印刷された一枚の週報が飾られている。鶴川教会の週報第1号、日付は1957年6月23日。説教者と牧師は室野玄一となっている。室野玄一牧師は、農村伝道神学校の発足当初から1972年の営利農場廃止と同時に行なわれた人員整理にて退職されるまでの15年間、農村伝道神学校を支えた方だ。発足当時の説教者の顔ぶれを見ると、室野牧師の他に、佐治良三先生（担任教師）、木俣 敏先生、興梠正敏先生とマシューズ宣教師と農村伝道神学校の教授陣が並んでいる。また奏楽者には保育科の太田知恵子先生、書記として職員の日黒光次氏の名前がある。日黒氏は戦前に室野牧師が団長だった満州基督教第2次開拓団に参加し、ソ連の捕虜となり長いシベリア抑留という経験を持ちながらも室野牧師の呼びかけに応じて、神学校の職員になった人である。その他の礼拝の出席者も神学校の教職員とその家族であったようだ。

室野牧師はひとつの構想を持っていたという記録がある。それは神学校を中心にして、周辺にいくつもの教会を生み出し、それを神学校の教師が共同で牧会することである。実際、日野台教会、鶴川教会が生み出された。そして当時の神学校が運営していた小野路保育園でも土曜日礼拝を行い、その他、いくつかの家庭での集会を行っていたと言う。鶴川教会と同じ年の6月9日に生田教会（伝道所）が勝部武雄教授（翌年校長）によって設立されている。これも大きく見ればその一つに数えることができるだろう。多分、これは室野牧師一人の考えではなく、神学校が考えたひとつの伝道圏伝道の実践だったかもしれない。その証拠ではないが、鶴川教会には竹で作られた十字架が伝わっている。神学校の礼拝堂にある十字架の小型版だ。今となっては経緯は定かではないが、鶴川教会が神学校の教会として建てられた証拠であると思っている。（*）

鶴川教会そして生田教会の設立された1957年は、農村伝道神学校が日野台から現在の野津田に移転した年でもある。この二つの教会は神学校の移転と同時に始められたことになる。移転前にも神学校の教会として日野台教会があったが、記録によると室野牧師は移転後も、しばらく日野台教会の



鶴川教会の「竹の十字架」

講壇の責任を持っていた。神学校の移転という事業だけでも大変なのに、当時の教師たちにはそれまでの教会も支え、そして新しい教会も発足させるという大事業に挑戦している。このエネルギーはどこから来たのだろうか。それは伝道圏伝道の実践という大きな使命があったからこそできたのではないだろうか。

鶴川教会は2代目の畠沢雄光牧師以後、私になるまでは農村伝道神学校出身の牧師ではなかった。しかしその間も柏井宣夫校長が在籍したり、無牧のときには高橋敬基校長が代務者となり教会を支えていただいた。そして高柳富夫前校長には、牧師時代に教会を大きく変革していただき今日の鶴川教会に至っている。

振り返れば、鶴川教会は神学校に寄り添って歩んできたといえるだろう。「神学校の教会」というには非力であるが、できる限りこれからも農村伝道神学校を支えていく教会でありたいと思う。

最後になるが、鶴川教会も信徒の高齢化が激しい。また会堂の維持等の費用の増大に苦しんでいる中で神学校に大きな金額を割くことができない状況である。その中で「ひとつぶ献金」は大変助かっている。小さな額でもこつこつ貯めれば、年間にすれば結構な額になる。昨年、これまで集金の労を担ってくださった人が亡くなられたが、幸いにも新たな人が与えられ継続することができた。前の係の人が「牧師を育てる神学校を支えるのは信徒の役目ですから」と引き受けてくださったことを今も心に残っている。

この「ひとつぶ献金」がもう少し広がってくれたらと願う。



1958年の教会学校クリスマス会

（*）（事務局追記）農伝礼拝堂建設（1968年20周年記念）に際し井草正講師が育成の四角い竹を使い、日黒光次氏が2つの十字架を作り、一つを農伝の礼拝堂にもう一つをご自分が属する鶴川教会に掲げたとの由。（後援会だより57号寺岡シホ子姉《日黒氏息女》寄稿文による）

農村伝道神学校 オープンキャンパスデーのご案内

同日開催：シオン幼稚園 シオン・デー

従来、農伝デーとして親しまれて
おりますオープンキャンパスが今
年よりオープンキャンパスデーと
改称して再スタート致しました。
ご参加下さいますようご案内致し
ます。

日時：2018年10月20日(土)

☆講演会 : 10:30~11:30

テーマ・「農伝70周年 農村伝道の原点」

講師・ロバート・ウイットマー本校校長



☆交流タイム：12:00~14:00

カレーなどの軽食、喫茶、物品販売や
後援会コーナーグッズも多数用意して
います。特に今回は70周年記念グッ
ズなどの用意もあります。

☆入学や学内見学をご希望の方は、ご案内致します。
ご遠慮なくお声をお掛け下さい。



*雨天決行(シオン・デーは延期となります)

*小田急線鶴川駅~小田急バス→野津田車庫下車→徒歩10分



農 伝 グ ッ ズ を お求めください



70記念陶器200~300円

竹敷物 300円

丸木の十字架 400円

農伝スケッチ 各50円

カード各種 50円

ペーパーナイフ 400円

「献金お振り込みのメッセージから」へのご報告

全国の教会、学校、皆さまからの献金振込票が、郵便局から届くとき「多くの皆さまから支えられている！」
うれしい実感とともに、「メッセージをご自由にお書きください」というメッセージ欄を読むのがとても楽しみ
です。

この春には『後援会だより』113号巻頭の「Jean's Garden~ストーン記念館の中心に~」を読まれて「ガーデ
ンの整備を応援します」が届きました。同じころ、聴講生、農伝の畑を借りている方、そして新校長パート
ナーの圭子ウイットマーさんたちから、Jean's Gardenを手伝いたいとの声があがり、いまでは数人の仲間が活動しています。なかには毎週木曜朝のコミュ
ニティーワーク(校内清掃)の時間に栗林の枯れ木整備にも加わってくださる
方もあり、感謝をしています。農伝生たちが夏期実習で全国各地に行き留守に
なる夏も、事務所の方の水やりに支えられてJean's Gardenの花々も緑も元気
です。これから秋、冬をどのように過ごしていくでしょう。

献金お振り込み票は、後援会記帳、領収証発行のあとで校長が読みます。今回
の応援メッセージはJean's Gardenの仲間たちにも届けました。みなさまから
のメッセージを楽しみにしています。これからもメッセージ欄のお便りをお待
ちしています。
後援会実務委員 長谷川りょう子



聖書物語(6種1組)300円



300円 呼び子笛 400円



ドングリけん玉 400円

♪♪「農伝支援コンサート」♪♪ 開催予告

今年度もムジカ・フェリチタの皆さんと、まぶね教会のご協力をいただき珍しいバロッ
ク古楽器によるコンサートを開催いたします。

ぜひご予約を頂き、お誘いあわせてご参加を下さいますようご案内致します。

- ・♪2019年2月23日(土)午後(開催予定で計画中)
- ・日本基督教団まぶね教会(小田急線柿生駅よりバス)
- ・入場無料(当日、農伝支援のための募金箱を用意させて頂きます)



この他にもいろいろあります。
*ご注文、お問い合わせは
TEL042-735-5775
(農伝事務所)

2018年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2018年6月1日～8月31日 () 内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	金井 良樹 10,000	丹波 菊井 10,000	記念日他献金 (団体)	川崎 トシ 5,000	松本真理子 5,000
	樺澤 幸雄 3,000	月本 昭男 5,000		川島堅二 5,000	三浦 修 3,000
下谷教会婦人会 20,000	上内 鏡子 2,000	辻井武志・嗣子 3,000	相武台教会 4,000	河原田美哉子 5,000	望月 昭 5,000
日本基督教団西東京教区	狩野登美子 3,000	綱島 敏光 6,000	天王台伝道所 2,000	菅野 豊子 5,000	山川 幹夫 30,000
婦人委員会 10,000	河川 陽子 3,000	西窪 幸子 2,000	徳島北教会 5,000	木下 良子 5,000	山田美知子 5,000
久が原教会 10,000	川崎 望 3,000	西村保典子 30,000(2)	飛騨高山教会 5,000	吉良 保子 5,000	盧 芝栄 5,000
姫路和光教会 30,000	河野 通久 5,000	林 博 10,000	日野台教会 15,000	熊谷 トキ 3,000	
箕面教会 8,000	菅野 健 10,000	原 誠 5,000		小林利明・恒子 3,000	合計43件
	北川 千恵 15,650	福島 一夫 10,000	合計5件	近藤恵・華子 3,000	金額 232,000
合計5件	清田 勝義 1,000	福本光夫・正美 5,000	金額 31,000	佐々木迪淳 5,000	
金額 78,000	桑野直義・瑛和子 5,000	真崎 麗子 5,000	記念日他献金 (個人)	佐藤 節男 5,000	ひとつぶ献金
	小泉 晴子 3,000	松本真理子 5,000		宇高誠・育枝 5,000	
後援会献金 (個人)	後藤美紀子 5,000	三上 節子 2,000	石井 光子 5,000	高寺 幸子 5,000	生田教会 111,900
	鷲 美恵子 5,000	三宅 洸子 5,000	石黒 文子 3,000	津村有紀子 5,000	荻窪教会 37,200
秋保美保子 5,000	佐々木ちじゑ 1,000	宗万利行・広美 2,000	石橋 光朗 2,000	土井 道子 3,000	鶴川北教会 50,000
東 昌子 3,000	佐々木英之助・和子 2,000	森田 恵子 5,000	市村 翠 3,000	中江 禮子 10,000	鶴川教会 76,700
岩崎 和子 5,000	佐治弘志・範子 5,000	森野善右衛門 5,000	上西知子・哲雄 2,000	中村 正俊 3,000	まぶね教会 13,000
氏原 淳一 10,000	三宮 千枝 3,000	柳 和吉 3,000	大久保徹夫 2,000	八田満千子 10,000	水元教会 11,600
江藤 政弘 3,000	島 しづ子 50,000	ロバート&圭子ウイットマー 50,000(3)	大久保洋子 10,000	服部 圭子 3,000	合計6件
江原進・浩子 10,000	嶋貴 春江 3,000	匿名1 11,000	小川安生・ユミ 10,000	平田 繁子 3,000	金額 300,400
大澤 錦一 50,000	鈴木 一宏 5,000	匿名2 1,650	小椋 郊一 10,000	平田由喜子 10,000	
大脇 順和 5,000	諏訪 昭子 5,000	合計59件	金井 和夫 5,000	深澤美知子 2,000	
奥田美和子 3,000	高柳めぐみ 5,000	金額 450,300	金木 絹江 3,000	福井 生 5,000	
小原 敏 10,000	田中 暉彦 10,000		金木 絹江 3,000	福澤 益代 5,000	
表見 聖 3,000			上地 武 3,000	福島 明美 3,000	

事務局だより

(実務委員)小海 基

本年は農村伝道神学校創立70年の年に当たります。学校長もウイットマー先生に替わり、旧宣教師館の撤去や校地整備を中心とした記念事業も現在立てられつつあります。

農伝の献金の種類が多いので分かりやすく説明してもらいたいという声に答えさせていただきます。4種類あるのです。①一番一般的なのが「後援会献金」です。これは個人、団体を問わずいつでも寄せられる一般献金です。遺産など一時的で高額なものは是非学校に直接ご相談ください。免税の書類を作ることができます。②この「後援会献金」の裾野を広げようということで始まったのが、本号第1面で瀬戸牧師が最後に触れておられる「ひとつぶ献金」です。「ひとり1ヶ月100円以上を神学校のために献げる」という趣旨で、少額ずつ教会単位で送金していただく献金です。この2つの献金が「後援会だより」で報告されます。③更に、農伝という地方の教会・伝道所に伝道者を送るこの神学校に特に関係深い方、思い入れの強い方々が学校へ直接送って下さる維持献金、奨学金、台湾交流献金などがありますが、「維持献金」については、ちょうど教会の「月定献金」(あるいは「ふるさと納税」)のように毎年額をご自分で決めて献げる献金です。これはそもそも農伝の経済危機の時に「緊急献金」として始まったのが引き継がれており、現在も毎年70～80名の人たちによって約600万円以上が届けられ

ています。この献金状況は献げていただいた方々に直接報告されます。この輪が広がっていければと願っています。ご自分もこの「維持献金」に加わりたいという方は是非お申し出いただくと幸いです。資料を送ります。④これら3つに加えてこれから呼びかけが始まる「70周年記念献金」のような期間を限定して、目標額をあげて全国に呼び掛ける献金ということになります。もちろんこの①～④すべてを献げてくださっている方もいますし、名前の出ない②「ひとつぶ献金」だけで参加して下さっている方もいます。普通の私立学校のように卒業生を中心に「後援会献金」が成り立っているのとは違って、農伝卒業生の教職が牧する(あるいは牧していた)、あるいは同じ学校法人鶴川学園に属するシオン幼稚園関係者ということを超えて、いろいろな広がり顔触れの方々が献金して下さっているのが素晴らしいです。

それだけに、世代を超えて今後も神学校を支える輪が引き継がれていくためにどのような工夫をしていったら良いかが、私たち後援会委員の課題です。「農伝グッズ」や「支援コンサート」、「後援会便り」などを通して、神学校とそれを支える皆さんとの距離を縮めようと工夫していますが、支える層の高齢化と、その次の世代がご支援を続けていただけるための工夫が私たちの大きな課題なのです。お祈りください。

2018年度後援会会計報告

2018年4月1日～2018年8月31日現在

献金等区分	収入 (献金・他)		前年度同期		前年同期比 (%)
	2018年度(4月～8月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費 (団体)	13	458,642	13	368,800	124
〃 (個人)	104	1,240,500	94	1,565,620	79
記念日他献金 (団体)	9	65,500	14	156,618	36
〃 (個人)	82	555,358	79	409,500	136
ひとつぶ献金 (団体)	11	514,000	12	551,200	93
グッズ		59,300		59,250	100
合計	219	2,893,300	212	3,110,988	93

発行 農村伝道神学校後援会
 会長 島しづ子
 事務局長 古川力也
 〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
 E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp
 ホームページ:
<http://www.noden.server-shared.com>
 郵便振替番号 00120-6-24418